ふるさとと共に歩む ＜令和4年 特別号＞

会津喜多方会

AIZU Kitakatakai

喜多方市

特別号　令和４年（2022年）10月1日/事務局 TEL. 080-5178-4191
発行人：会長 冠木雅夫　編集：会報編集部会　印刷所：村本商店

今年こそ会いましょう

皆さま、長らくお待たせしました。コロナ禍で2年間開催できなかった会津喜多方会総会･懇親会を11月19日（土）に東京･上野の東天紅で開催します。久しぶりに集まり地元のお酒を飲んで大いに楽しみたく思います。恒例の祭り囃子、会津磐梯山盆踊りも可能であれば皆様と楽しめるように検討しています。ふるってご参加ください。

喜多方でも今夏は3年ぶりに夏祭りが復活し、8月15日には太鼓台15台が練り歩きました。

令和4年度 会津喜多方会総会

11月19日（土） 上野 東天紅で開催

ご挨拶

笑顔あふれ「わくわくする喜多方」を

遠藤 忠一
<喜多方市長>

会津喜多方会の皆様におかれましては、日頃より、ふるさと喜多方のため御支援と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

8月3日からの大雨は、24時間降水量275.5㎜という観測史上最大を記録し、市内全域で住宅等の浸水、道路崩落、農地冠水など甚大な被害をもたらしました。JR磐越西線濁川橋梁の崩落による喜多方・野沢駅間の運休や国道121号の崩落による大峠区間の全面通行止など多大な影響を及ぼしており、一刻も早い復旧と被災者支援に努めているところです。

さて、喜多方の近況ですが、4月にひとづくり・交流拠点複合施設がオープンしました。屋内子ども遊び場、子育て支援、地域医療人材養成など開館以来、好評です。7月には中国宿遷市と経済、教育など多分野交流を目的に友好都市協定を締結しました。

また、今年度は、新型コロナウイルス感染症発生以来、はじめて行動制限のない夏でした。三ノ倉高原ひまわりフェスタ、夏まつりは、3年ぶりの開催となり、多くの方々で賑わいました。

今回のコロナ禍は、現代社会の在り方に大きな問題を提起しており、地域が生き抜くには、「国内・田園・人間回帰」という考え方への転換が必要です。これらを踏まえ全ての方が笑顔にあふれ、夢と希望の持てる「ふるさと喜多方」「わくわくする喜多方」を着実に推進してまいります。

崩落した磐越西線鉄橋　(8月15日撮影)

さすけね、がんばんべ

佐藤 富次郎
<会津喜多方
商工会議所会頭>

今から45年前の1977年11月23日、会津喜多方会は銀座東急ホテルにて産声を上げた。当時、商工会議所第7代会頭小野寺弥吉氏が設立総会にて挨拶されている。ほかに芳賀・石嶋両副会頭、女池専務理事も出席し、商工会議所は会の設立時から深く関わっていた。初代会長である渡部辰巳氏の素朴な思いが挨拶文の中にある。「喜多方会には特別の目的があるわけではありません。郷里を同じくする者が、異郷の地で集まって郷里を語り合う親睦の会であり「郷土喜多方繁栄に尽す」会の原点は恐らくこの言葉にある。郷土発展への思いが商工会議所の関与となったのだろう、と思う。私は商工会議所会頭として第12代となるが、改めて喜多方会の発展を念じ、郷土喜多方繁栄に尽す責任を痛感する。

さて、コロナ禍3年目だが喜多方は4月しだれ桜、5月GW、7月レトロ横丁、さらに8月お盆時は久々に観光客や帰省する方々の姿が見られ活況を呈した。やはり喜多方は魅力一杯な観光地である。

しかし、8月の記録的集中豪雨は磐越西線鉄橋及び国道121号線の崩落等、随所で大災害となった。だが、喜多方会皆様の声援が聞こえてくるような気がする。

「さすけね、がんばんべ」の思いである。

＜令和4年度　会津喜多方会総会＞

◎日　時　令和 4年11月19日（土）
受付開始：11時～　総会11時30分開始　　懇親会12時15分～15時00分

◎会　場　東天紅　上野本店　〒110-0008　台東区池之端1-4-1　電話03-3828-5111

◎交　通　JR各線「上野駅」下車、不忍口より徒歩10分　地下鉄千代田線「湯島駅」より徒歩3分

◎会　費　懇親会費：8,000円　　年 会 費：2,000円

●お問い合わせ　会津喜多方会事務局　<伊 関　宏 宅内>
携　帯：080-5178-4191 TEL/FAX：048-433-6869 E-mail：hiroshi.iseki51@gmail.com

ご挨拶

ふるさとを持つありがたさ

冠木 雅夫
<会津喜多方会会長>

平素より会津喜多方会にご支援、ご協力をいただきありがとうございます。コロナ禍で2年間休んでいた会津喜多方会の総会・懇親会を開催できることは望外の喜びです。会員の皆さま、本当に長い間お待たせいたしました。感染対策については万全の備えをとりますので、よろしくお願い申し上げます。

ふるさと喜多方でも、今年は3年ぶりに二連の夏祭りが挙行されました。7月にはレトロ横丁が幸先のよいスタート。8月には太鼓台練り歩きなど、大きな盛り上がりをみせてくれました（会津磐梯山庄助踊りは残念ながら雨で中止でしたが）。私も久々の祭りを見るため帰省しウキウキした気分を味わいました。やはり太鼓台のお囃子は心に響きます。

喜多方では今夏、磐越西線の鉄橋が崩落するなどの豪雨災害が起きたばかり。大震災以来、風評被害に、そしてコロナに苦しんでいるのに、どうしてまた、という気もします。しかし、そんな暗い気分を吹き飛ばしてくれたのが祭囃子でした。喜多方っ子を元気づけている祭囃子と会津磐梯山の盆踊り。それを東京・上野の地で楽しめる日を心待ちにしております。

ふるさとを持つことのありがたさを、皆さまと一緒に噛みしめたく思います。

令和3年度事業報告

令和3年9月～令和4年8月

前年度（2020年度）に引き続き、コロナ禍により総会・懇親会は中止としました。会活動の再開に向け幹事会などを数回開催しています。会費の集金も中止、10月発行の会報臨時号などの経費は繰越金より支出しました。

また、役員による喜多方市訪問も中止、関係機関・団体との連絡活動もほぼ中止しました。

主な会合は次の通り。

9月25日　常任幹事会
KKR東京（9名参加）
11月20日　幹事会
上野・東天紅（21名参加）
4月23日　幹事会
日本海庄や新宿西口店（22名参加）
7月30日　幹事会
日本海庄や新宿西口店（15名参加）

令和4年度（2022年度）事業計画

令和4年9月～令和5年8月

3年ぶりに上野・東天紅で総会・懇親会を開くべく準備中。徐々にコロナ禍以前の通常活動に戻していく予定です。

「お悔やみ」

長く会津喜多方会の活動に尽力されてきたお二人の訃報が届きました。ご冥福をお祈り申し上げます。

山内　フミ　様

令和4年7月8日ご逝去、97歳
平成20年以前より24年まで副会長をされ、その後平成29年まで顧問をされました。

峯岸　純一　様

令和4年8月6日ご逝去、73歳。
平成29年より幹事をされ、今次総会で監事に就かれる予定でした。7月30日の幹事会に出席されていましたが、新型コロナ感染症によりご逝去されました。

会津喜多方会役員名簿

（令和4年10月1日現在、監事候補も含む）
（敬称略・順不同）

☆顧問　五十嵐 清人　五十嵐 忠雄　遠藤 和徳　小山 忠男　齋藤 平二　武田 恵美子　田部 勉　渡邊 衛

☆相談役　冨木 みゑ

☆会長　冠木 雅夫

☆副会長　石嶋 正志　石綿 崇志　武蔵 好彦　山田 勝

☆幹事長　伊関 宏

☆幹事長代行　大竹 正直

☆副幹事長　北村 三百子　高橋 雅子　永木 栄子

☆監事　矢部 セツ子　大竹 英一

☆幹事　秋葉 芙美子　秋元 美智子　穴澤 ミヨ子　岩田 千穂　内山 由美子　大川原 千保　小野瀬 順治　小関 哲子　斎藤 實　鈴木 幹男　滝沢 雄二　東條 貴史　冨田 陽子　梨本 佐津子　夏井 淳一　新居崎 千津子　西村 久子　南出 京子　山田 春美　渡部 静子　渡部 武

☆地元幹事　小野 幸一　都倉 浩二　佐藤 利則　庄司 一也　栗城 由紀　齋藤 光司　川原田 俊行　岩田 恒典　五十嵐 隆　甲斐 修一

☆地元事務局　瓜生 賢恵

会津喜多方会　第45期 決算報告
（自　令和3年9月1日～至　令和4年8月31日）

1　貸借対照表　（令和4年8月31日現在）

単位：円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金	29,800	余剰金	394,079
郵便振替預金			
通常郵便預金	364,279		
定額郵便預金			
定期預金			
合計	394,079	合計	394,079

2　収支計算書　（自 令和3年9月1日～至 令和4年8月31日）

単位：円

収入の部		支出の部	
年会費		総会・懇親会経費	
総会・懇親会費		会報発行費	52,250
祝儀・寄付金		謝礼・協賛金	79,400
来賓・懇親会費		印刷費	31,240
初参加者		通信運搬費	39,454
広告料		事務所費	30,000
受取利息	3	事務用品費	14,820
前期繰越金	655,370	旅費交通費	
		会議費	
		郵便振替・支払手数料	990
		その他・慶弔費	13,140
		次期繰越金	394,079
合計	655,373	合計	655,373

上記の通り報告いたします。　　令和４年９月１日

会長　冠木　雅夫
幹事　伊関　宏
会計　大竹　正直

上記について監査した結果、適法適正なることを認めます。　令和4年10月8日

監事　矢部　セツ子　印

会津喜多方会　第46期予算案
（自　令和4年 9月1日～令和5年 8月31日）

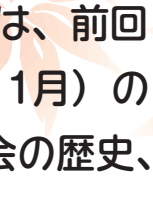
第46期予算案（（自 令和4年 9月1日～至 令和5年 8月31日）　単位：円

収入の部		備考
前期繰越金	394,079	
年会費	320,000	納入予定者　160名×@2000=320000
総会・懇親会会費	640,000	会員参加予定者　80名×@8000
祝儀・賛助金等	150,000	
来賓・懇親会会費	160,000	来賓予定者　20名
当年度収入合計	1,664,079	

支出の部		
総会・懇親会経費	820,000	懇親会費　680,000円　酒・お土産代　80,000円 祭囃子 50,000円　その他 10,000円
会報発行費	110,000	会報(特別号）製作費(600部)　110,000円
協賛金・参加費	110,000	喜多方夏祭り 30,000円　福島県人会20,000円 会津会・西会津会　20,000円 広告料他　10,000円　Webサイト30,000円
印刷費	40,000	総会案内状印刷・ハガキシール印刷 30,000円　その他10,000円
通信運搬費	110,000	総会案内状ハガキ送付　100,000円 その他 10,000円
事務所費	30,000	事務局経費　30,000円
事務用品費	10,000	インクトナー他　10,000円
旅費交通費		
会議費		
郵便振替手数料	30,000	年会費振替手数料他　30,000円
その他	10,000	慶弔費等 10,000円
当年度支出合計	1,270,000	
予備費	394,079	
合計	1,664,079	

<会津喜多方会のホームページ!>
http://www.aizukitakatakai.org

当会のホームページでは、前回の第43回総会（2019年11月）の写真や動画、会津喜多方会の歴史、会報の創刊号以来のバックナンバー、最近の話題などを掲載しています。



是非、お手元のスマホやタブレット等で上のQRコードを読み取って下さい。

広告協賛の皆様へ

平素より私ども会津喜多方会に対する御厚誼に深く御礼申し上げます。

ご覧のように当会は11月19日の総会を開催することといたしました。総会に合わせて皆様のご協力を得て刊行していた「会報」については、今回も昨年同様、「特別号」として広告をお願いせずに最小限のページ数で発行しております。

来年度、可能であればコロナ前の会報を復活させたく考えておりますので、以前同様のご支援、お付き合いをいただければと思っております。時節柄、ご苦労の多いこととは思いますが、よろしくお願い申し上げます。皆様のご事業の益々の発展を祈念しております。

会津喜多方会